



与論小だより

学校教育目標：校訓「至誠」を胸に、未来に挑む子供の育成



ブログはこちら



お手伝いを通して充実した冬休みに

校長 岩元 輝美

吹く風が冷たさを感じさせるようになりました。長かった2学期(81日の登校日)でした。11月末にインフルエンザにより閉鎖をした学年もありましたが、それでも、子供たちは笑顔で毎日の学校生活を送ることができました。「学習成果発表会では、仲間と教え合い励まし合って一生懸命頑張ることができ、最高の劇にすることができた。」という振り返りをした子もいました。「主体性」などの個の高まりだけでなく、「協力」「思いやり」など集団としての高まりも見られ、確かな成長が感じられたすばらしい2学期でした。

既に23日から子供たちが楽しみにしていた17日間の冬休みに入りました。休みの日が続くと、気になるのが子供の学習時間とお手伝いです。実は、「お手伝い」と「学力」は大いに関係があるようです。国立青少年教育振興機構等の様々な学術調査によると、家庭でお手伝いをしっかりしている子は、学力が高いという傾向が出ています。お手伝いをする事で学習する時間が少なくなるというリスクがあるのに、なぜ、効果があるのでしょうか。その理由は、お手伝いという体験がもつ特性にあるようです。

★お手伝いの特性★

- ① どのようなお手伝いなのか、説明を受ける。
- ② 場合によっては、家族からお手本を示されながら、やり方を教わる。
- ③ 親と一緒にする場合は、話をしながら効率のよいやり方を見て学ぶことができる。
- ④ 終わった後で、お礼を言われたり、褒められたりすることで、自己肯定感が育まれる



上記の①～④に通じるのは、親子のコミュニケーションが図られていることです。親子でお手伝いを通して対話することで、子供は親から「効率よく」「家族の(人の)ために」「親のすごさ」「親の子供の時のこと」「お礼を言われる/褒められる 心地よさ」など、多くのことを感じ取ります。これらが、学習面にもよい影響を与えている可能性が高いとのこと。

確かに、子供にお手伝いをさせるにはそれなりの労力が必要です。しかし、何回か挑戦させるうちに子供は手際よくなっていき、大いに役に立つ場面も出てくるものです。

ちなみに、学期末に行っている保護者による学校評価アンケートでは、毎回「家庭では、家族の一員として子供に手伝いをさせていますか」という項目の評価が他の項目に比べて低い傾向があります。お正月の準備等でお忙しいこととは思いますが、そのような時だからこそ、子供の手を借りて是非一緒に仕事をしてほしいと思います。そして、家族の方々からたくさん褒めてもらうことで、子供自身が「家族の一員としての役割を果たしている。」ことを実感し、楽しく充実した冬休みになるよう願っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、本年中も本校の教育活動に対しまして深い御理解とたくさんの温かい御支援をいただき、誠にありがとうございました。新年も子供たちが安心と信頼感の中で健やかに成長していけるよう、職員一同力を合わせてかかわってまいります。引き続き皆様の温かい御支援をお願い申し上げます。



令和6年(2024年)が皆様にとってよい年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

持久走大会

12月7日(木)持久走大会を開催しました。始めは1,2年生の500m走でした。距離が短いのでスタートから全力で走っていきます。正門付近で転んでしまった子供もいましたが、すぐに立ち上がり、頑張って走っていく姿は立派でした。

本年度から、3年生以上では「長い距離を走るのを嫌だと思いを増やさない。」「自分の思いに合わせて自分で選択する力を養う。」ことを目的とし、決まった距離を走りタイムを競うコースと、決められた時間内を自分のペースで走り続けるコースの2つのコースから選択できるようにしました。3,4年生は1000m走と5分間走,5,6年生は1500m走と7分間走をそれぞれ選択し走りました。一位を目指して全力で走りきる子供たちも、自分の走ることでできるペースで最後までしっかりと走りきる子供たちもとてもよく頑張りました。



1・2年生からスタート



今年度から時間走も始まりました



6年生は最後の持久走大会

サンゴ養殖体験

12月4日(月)5年生が海洋教育科「ゆんぬ学」の学習の一環としてサンゴの養殖体験を行いました。与論町漁協の箕作さんにサンゴの生態や、サンゴのいる海の大切さなどについて話を聞いた後で、実際にサンゴの苗を養殖用ブロックに巻きつける体験を行いました。今回準備したブロックは、与論漁港近くの海で大きくなるまで育てられるそうです。



その後は、グラスボートに乗っての海のサンゴの様子を観察しました。天然のサンゴや養殖してしばらく経ったサンゴ、そしてそこに住む魚たちを見ました。さらに、今回はダイバーが実際にサンゴのブロックを養殖する様子まで見ることができました。与論の海の素晴らしさと守ることの大切さを実感できるよい機会となりました。



人権集会

与論小学校では、11月27日から12月9日を入権旬間と位置づけ「自分も友達も大切にしよう」をスローガンに入権学習に取り組んでいます。その中で今年も人権集会を行いました。



始めに、1年生から6年生までの縦割り班の中で、仲間づくりゲームをした後、与論町人権擁護委員会の方に「仲良く過ごすために大切なこと」「SOSの出し方」などを教わりました。

調理実習6年生

12月9日(土)、6年生が調理実習をしました。自分たちで一食分の食事を考えて、グループの友達と協力して調理をしました。計画に従って分担して買い物に行き、具だくさんの味噌汁やツナポテトバーグなどを作り、お腹いっぱい美味しく食べることができました。



1月の行事予定

- 1日(月)～8日(月) 冬季休業
- 2日(火) 二十歳のつどい
- 5日(金) 与論町書き初め大会
- 9日(火) 始業式
- 12日(金) ぐーじゃー号
- 13日(土) 土曜授業日



- 16日(火) 鹿児島学習定着度調査(国・理,5年)
- 17日(水) 鹿児島学習定着度調査(算・社,5年)
- 22日(月)～24日(水) 栄養教諭・生産者との交流会
- 30日(火) 与論海洋教育フェア(4年)